

3 【分析1】調査の概要及び教科の調査結果の分析

(1) 「基礎・基本」定着状況調査

① 調査の概要

(ア) 調査の目的

- 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力、表現力などの状況を把握する。
- 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。
- 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実に努める。
- 調査結果を基に児童生徒の学習の到達度を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。

(イ) **調査対象** 小学校第5学年及び特別支援学校小学部第5学年
中学校第2学年及び特別支援学校中学部第2学年

(ウ) **実施期日** 平成26年6月10日(火)

(エ) 調査内容

- 国語、算数・数学、理科、英語(中学校のみ)における前学年までの学習内容の定着状況調査

*タイプⅠ：教科で身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼすなどの基礎的・基本的な内容

*タイプⅡ：教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容

- 生活と学習に関する意識・実態についての児童生徒質問紙調査
- 指導方法等についての学校質問紙調査

(オ) 調査実施学校数及び集計対象者数(県内公立学校)

学 年	調査実施校数	集計対象者数
小学校第5学年・特別支援学校小学部第5学年	494校	24,412名
中学校第2学年・特別支援学校中学部第2学年	241校	21,947名

※ 集計対象者数…欠席した児童生徒、途中から入室し調査を始めたり、途中で退室し調査をやめたりした児童生徒、あるいは、放送設備の故障や聴覚障害等により音声問題に取り組むことができなかった児童生徒を調査対象者数から除いた数

② 教科の調査結果

○小学校

タイプⅠは、調査を実施したすべての教科において、平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容は、おおむね定着していると考えられる。

タイプⅡは、調査を実施したすべての教科において、平均通過率が60%を超えていることから、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などは、おおむねついていると考えられる。

	タイプⅠ	タイプⅡ	教科全体
国語	73.9	62.2	71.8
算数	79.7	69.8	78.0
理科	73.9	63.5	70.6

○中学校

タイプⅠは、国語、数学、英語で平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着しているが、理科は昨年度と比べ平均通過率が上昇しているものの、依然として課題があると考えられる。

タイプⅡは、国語で平均通過率が60%を超えていることから、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などはおおむねついているが、数学、理科、英語は課題があると考えられる。

	タイプⅠ	タイプⅡ	教科全体
国語	73.8	73.5	73.7
数学	73.9	52.7	70.2
理科	59.8	47.9	55.0
英語	72.5	51.8	68.2

(ア) 通過率等の経年変化

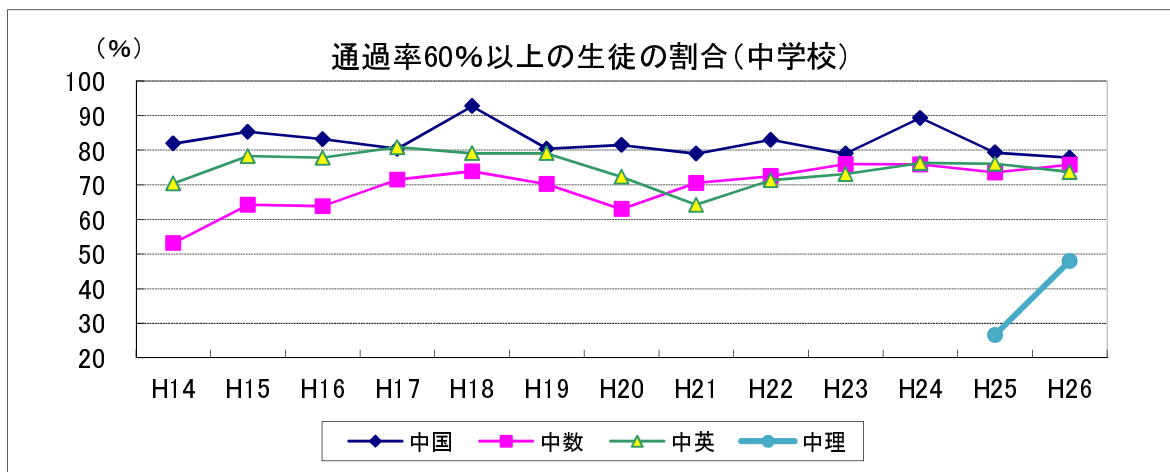
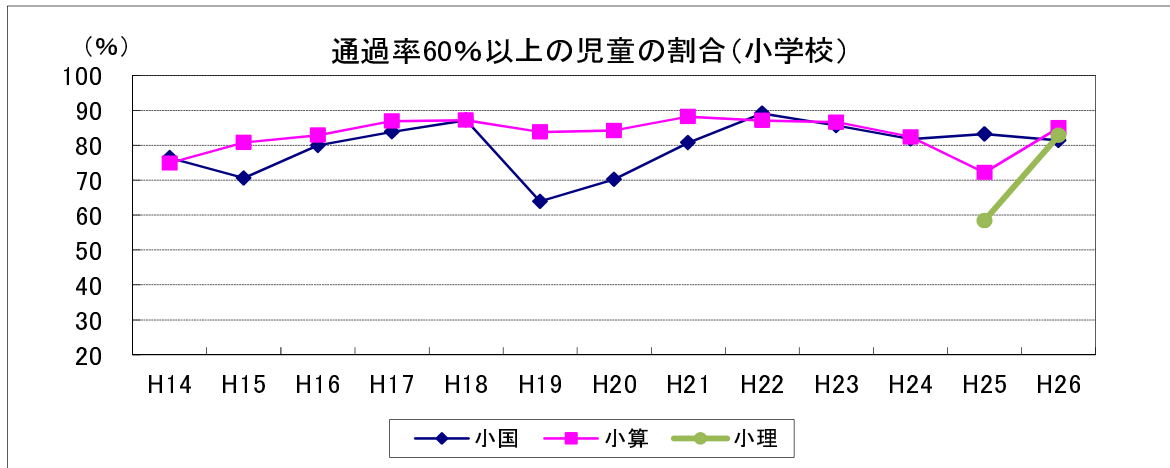
○タイプⅠ

	年度	小学校			中学校			
		国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語
平均通過率 (%)	H26	73.9	79.7	73.9	73.8	73.9	59.8	72.5
	H25	77.2	70.1	63.9	73.7	72.7	45.8	74.4
通過率 80%以上の 児童生徒の割合 (%)	H26	43.5	57.2	51.4	47.7	45.6	21.8	46.5
	H25	53.4	32.8	21.8	48.6	44.5	5.8	51.7
通過率 60%以上の 児童生徒の割合 (%)	H26	81.4	85.0	82.8	77.8	75.8	48.0	73.7
	H25	83.2	72.2	58.4	79.3	73.6	26.6	76.1
通過率 30%未満の 児童生徒の割合 (%)	H26	2.9	1.8	2.9	2.0	4.7	10.2	4.2
	H25	2.8	3.5	8.0	2.8	6.0	30.4	4.5
標準偏差	H26	18.4	18.3	18.8	19.1	21.8	22.4	22.1
	H25	19.5	19.2	20.8	19.3	22.9	21.9	22.5

○タイプⅡ

	年度	小学校			中学校			
		国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語
平均通過率 (%)	H26	62.2	69.8	63.5	73.5	52.7	47.9	51.8
	H25	38.2	68.1	56.8	63.7	51.2	26.1	63.2

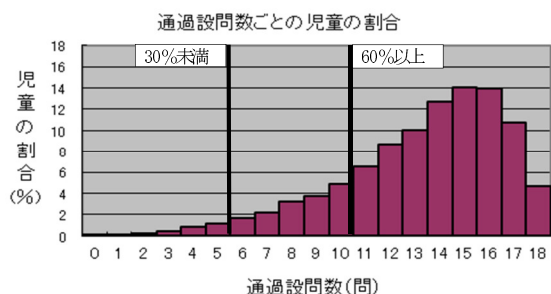
○タイプⅠにおける通過率60%以上の児童生徒の割合の経年変化



(イ) 教科における学習内容の定着状況の概要

小学校国語

○タイプⅠの状況



○平均通過率 73.9%

○通過率 60%以上の児童の割合
(通過設問数 11 問以上) 81.4%

全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域等の定着状況

【聞くこと】 84.3%	かなり定着	【書くこと】 66.4%	おおむね定着
【読むこと】 46.1%	定着が不十分	【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 82.2%	かなり定着

通過率 60%以上の設問 (上位 3 問)

- 第 2 学年, 第 4 学年の漢字の読み
〈 設問 二 1 ① 〉 98.6%
- 要点の聞き取り
〈 設問 一 1 〉 93.7%
- 第 4 学年, 第 3 学年の漢字の読み
〈 設問 二 1 ② 〉 89.0%

通過率 60%未満の設問

- 中心となる語や文の把握
〈 設問 三 3 〉 25.2% P60
- 段落相互の関係の把握
〈 設問 三 2 〉 39.6% P59
- 文章の構成
〈 設問 四 1 〉 50.7% P61

○タイプⅡの状況

通過率 60%以上の設問

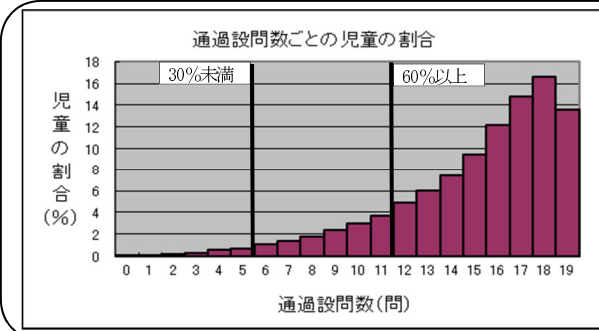
- 叙述を基にした想像 (エを選択)
〈 設問 五 1 〉 85.9%
- 叙述を基にした想像 (イを選択)
〈 設問 五 1 〉 69.1%
- ・ 叙述を基に想像して読むことはできている。

通過率 60%未満の設問

- 理由を挙げた記述
〈 設問 五 2 〉 37.6% P78
- ・ 想像力を働かせながら、詩の描写を読むことに課題がある。
- ・ 想像できることを具体的に書くことに課題がある。
- 目的に応じた引用
〈 設問 五 2 〉 56.0% P78
- ・ 引用の仕方に課題がある。

小学校算数

○タイプⅠの状況



○平均通過率 **79.7%**

○通過率60%以上の児童の割合
(通過設問数12問以上) **85.0%**

全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域の定着状況

【数と計算】	87.0%	かなり定着	【量と測定】	71.1%	おおむね定着
【図形】	74.4%	おおむね定着	【数量関係】	81.1%	かなり定着

通過率60%以上の設問(上位3問)

- 3位数+2位数
〈設問 1 (1)〉 94.3%
- 3位数-2位数
〈設問 1 (2)〉 94.0%
- 3位数×1位数
〈設問 1 (3)〉 93.2%

通過率60%未満の設問

- 複合図形の面積
〈設問 4〉 59.3%

P62

○タイプⅡの状況

通過率60%以上の設問

- 解決方法の解釈と適用
〈設問 12 (1)〉 91.4%
・規則性を読み取ることは、かなりできている。
- 自分の考えや解決方法を筋道立てて説明
〈設問 13 (1)〉 80.5%
・敷き詰め方と必要なカードの枚数を求めることは、かなりできている。

通過率60%未満の設問

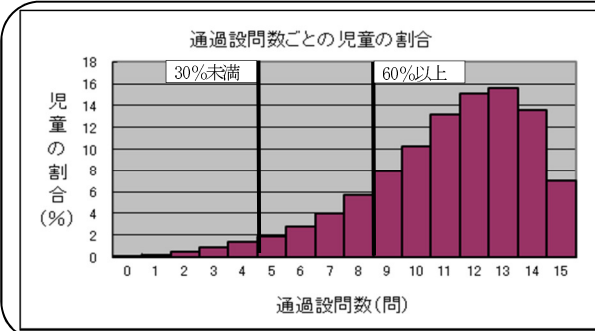
- 自分の考えや解決方法を筋道立てて説明
〈設問 13 (2)〉 51.1%
・示された長方形の板にカードを敷き詰めることができないと判断するための方法を、言葉の式を用いて記述することに課題がある。
- 解決方法の解釈と適用
〈設問 12 (2)〉 56.3%
・示された解決方法を理解し、課題を解決することに課題がある。

P82

P80

小学校理科

○タイプIの状況



○平均通過率 **73.9%**

○通過率60%以上の児童の割合
(通過設問数9問以上) **82.8%**

全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域の定着状況

【物質】	86.6%	かなり定着	【エネルギー】	72.6%	おおむね定着
【生命】	69.2%	おおむね定着	【地球】	66.7%	おおむね定着

通過率60%以上の設問(上位3問)

- 電気を通す物、通さない物
〈設問 7 (2)〉 89.5%
- はかりの正しい使い方
〈設問 8 (1)〉 88.2%
- 関節の名称
〈設問 3 (2)〉 87.9%

通過率60%未満の設問

- 方位磁針の正しい使い方
〈設問 2 (2)〉 41.4% P63
- 温度の正しいはかり方
〈設問 4 (1)〉 52.3% P64

○タイプIIの状況

通過率60%以上の設問(上位3問)

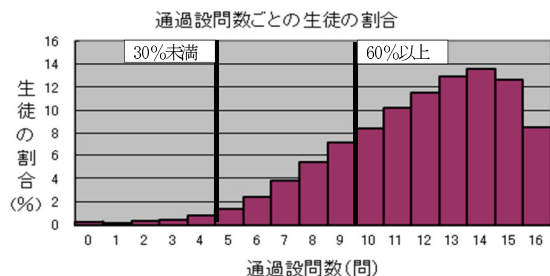
- 磁石の性質を利用したものづくり
〈設問 6 (2)〉 86.1%
・磁石の性質を、ものづくりの場面に当てはめて考えることは、かなりできている。
- 磁石の性質
〈設問 6 (1)〉 73.8%
・事象を磁石の性質と関係付けて考えることは、おおむねできている。
- 季節ごとの動物の活動の様子
〈設問 4 (3)〉 72.9%
・グラフと観察の結果を適切に結び付けて考察することは、おおむねできている。

通過率60%未満の設問

- 金属の温度変化と生活との関連
〈設問 9 (3)〉 43.9% P88
・金属の温度変化による体積変化を、日常の事象に当てはめて説明することに課題がある。
- 太陽とかげの位置関係
〈設問 2 (3)〉 44.0% P84
・太陽とできたかげの位置を関係付けて考察することに課題がある。
- ゴムの力による物の動く様子の違い
〈設問 5 (2)〉 55.2% P86
・実験結果のグラフを根拠にして考えを表現することに課題がある。

中学校国語

○タイプⅠの状況



○平均通過率 73.8%

○通過率60%以上の生徒の割合
(通過設問数10問以上) 77.8%

全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域等の定着状況

【聞くこと】 82.0%

かなり定着

【書くこと】 65.0%

おおむね定着

【読むこと】 57.3%

定着が不十分

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

79.4% おおむね定着

通過率60%以上の設問（上位3問）

- 小5漢字の読み
〈設問 四 1〉 95.7%
- 小6漢字の読み
〈設問 二 1①〉 91.3%
- 文語のきまり
〈設問 二 5〉 89.3%

通過率60%未満の設問

- 要旨の把握
〈設問 四 3〉 41.3% P66
- 叙述の仕方の確認
〈設問 三 2〉 57.4% P65

○タイプⅡの状況

通過率60%以上の設問（上位3問）

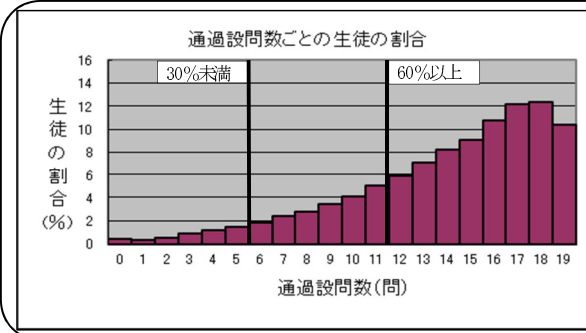
- 登場人物の心情の把握
〈設問 五 1 (1)〉 82.8%
・文章の展開に即して、登場人物の心情を的確に捉えることは、かなりできている。
- 記述の量
〈設問 五 2〉 80.9%
・伝えたい自分の考えを整理し、決められた文字数で書くことは、かなりできている。
- 文章の展開の把握
〈設問 五 1 (2)〉 67.9%
・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解することは、おおむねできている。

通過率60%未満の設問

該当なし

中学校数学

○タイプⅠの状況



○平均通過率 **73.9%**

○通過率 60%以上の生徒の割合
(通過設問数 12 問以上) **75.8%**

全体の形がなだらかな右寄りの山形であることから、ばらつきがあるものの基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域の定着状況

【数と式】	80.2%	かなり定着	【図形】	66.3%	おおむね定着
【関数】	66.6%	おおむね定着	【資料の活用】	61.3%	おおむね定着

通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 小数の減法
〈設問 1 (1)〉 93.8%
- 絶対値の意味
〈設問 2 (1)〉 90.8%
- 四則の計算
〈設問 1 (2)〉 89.9%
- 式の値
〈設問 1 (5)〉 89.9%

通過率 60%未満の設問

- 最頻値の意味
〈設問 7 (1)〉 51.8% P69
- グラフ上の点
〈設問 6 (1)〉 55.8% P68
- 球の体積
〈設問 5 (1)〉 59.2% P67

○タイプⅡの状況

通過率 60%以上の設問

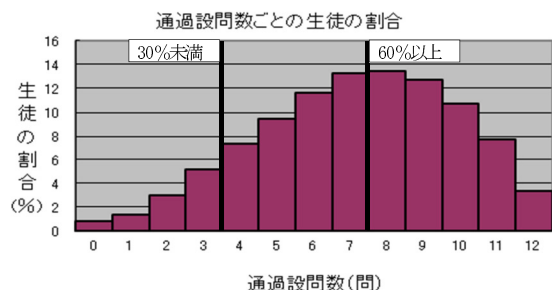
- 複数の事象の統合
〈設問 11 (1)〉 71.5%
〈設問 11 (2)〉 65.2%
- ・ 比例の見方や考え方を活用するとともに、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することは、おおむねできている。

通過率 60%未満の設問

- 問題解決の構想と結果の振り返り P92
〈設問 10〉 31.2%
・ 表により与えられた数値や情報を読み取り、自分の考えを数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- 情報の傾向の読み取り P90
〈設問 9〉 43.0%
・ 総度数の異なる2つの資料の傾向を比較し、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

中学校理科

○タイプⅠの状況



○平均通過率 59.8%

○通過率60%以上の生徒の割合
(通過設問数8問以上) 48.0%

全体の形は右寄りの山形であるものの、ばらつきがあり、通過率30%未満の生徒の割合が10.2%であることから、基礎的・基本的な学習内容は、全体として定着が不十分であると考えられる。

領域の定着状況

【物理】	64.3%	おおむね定着	【化学】	47.7%	定着が不十分
【生物】	58.6%	定着が不十分	【地学】	68.5%	おおむね定着

通過率60%以上の設問(上位3問)

- 地震によるゆれの種類
〈設問 6 (2)〉 81.9%
- 震度の意味
〈設問 6 (1)〉 78.6%
- 光の性質の利用法
〈設問 2 (3)〉 72.6%

通過率60%未満の設問(下位3問)

- 結晶による物質の特定
〈設問 4 (2)〉 40.0% P72
- 火山灰の観察方法
〈設問 3 (1)〉 45.1% P71
- 温度計の示度の読み取り
〈設問 1 (1)〉 51.4% P70

○タイプⅡの状況

通過率60%以上の設問

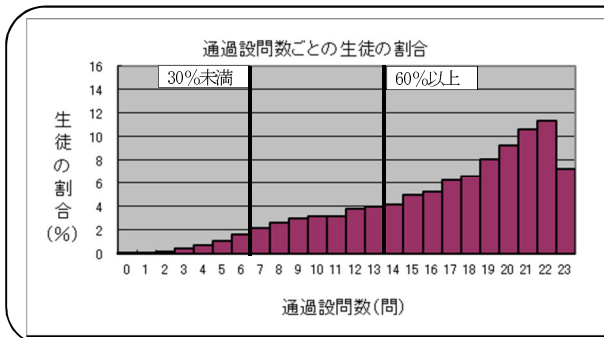
- 結果に基づいた結論の導出
〈設問 8 (3)〉 70.0%
・葉の表と裏の気孔の数の違いについて結果を根拠に考察することは、おおむねできている。
- 仮説検証のための条件制御
〈設問 7 (1)〉 69.0%
・音の高さを決める要因について、条件を制御して、考察の根拠となる結果の組み合わせを選ぶことは、おおむねできている。
- 水溶液の均一性
〈設問 4 (1)〉 66.8%
・水溶液中の溶質の均一性を結果から導くことは、おおむねできている。

通過率60%未満の設問(下位3問)

- 溶質の再結晶
〈設問 4 (3)〉 17.6% P94
・水溶液を冷やしたときの再結晶について、溶解度と関係付けて捉えることに課題がある。
- 地震の記録による震源距離の推定
〈設問 6 (3)〉 34.5% P96
・震源からの距離を、初期微動継続時間の記録をもとに推定することに課題がある。
- 実験結果の分析・解釈
〈設問 7 (2)〉 39.7% P98
・実験結果を分析し解釈して、仮説と照合し結論を導き出すことに課題がある。

中学校英語

○タイプⅠの状況



○平均通過率 72.5%

○通過率 60%以上の生徒の割合 (通過設問数 14 問以上) 73.7%

全体の形がなだらかな右寄りの山形であることから、ばらつきがあるものの、基礎的・基本的な学習内容は全体として定着していると考えられる。

領域の定着状況

【聞くこと】 71.0% おおむね定着 【読むこと (実技を含む)】 73.9% おおむね定着
 【書くこと】 63.8% おおむね定着 【話すこと (実技)】 85.1% かなり定着

通過率 60%以上の設問 (上位3問)

- リスニング問題 (英語での問いかけに対する適切な応答) < 設問 1 1 > 83.8%
- リスニング問題 (英語での問いかけに対する適切な応答) < 設問 1 2 > 81.5%
- 辞書の初歩的な使い方 < 設問 4 > 81.0%

通過率 60%未満の設問 (下位3問)

- リスニング問題 (会話の内容の理解と質問への適切な応答) < 設問 2 1 > 47.8% P73
- 基本的な文のきまりを理解した作文 < 設問 5 2 > 56.0% P76
- つながりのある英文を書く < 設問 10 2 > 57.2% P74

○タイプⅡの状況

通過率 60%以上の設問

- 情報を基にした概要の理解 < 設問 11 1 > 63.5%
 ・必要な情報の概要を読み取ることは、おおむねできている。

通過率 60%未満の設問 (下位3問)

- 根拠をもって考えを伝える英文を書く < 設問 11 3 > 43.6% P100
 ・英語の文章を読んで、その内容を基に、根拠をもって自分の考えを伝える英文を書くことに課題がある。
- 中心となる事柄の把握 < 設問 12 1 > 46.5% P102
 ・会話文の内容を理解し、中心となる事柄など大切な部分を捉えて的確に読み取ることに課題がある。
- 適切な質問を考え英文を書く < 設問 12 2 > 51.0% P102
 ・会話文の内容を理解し、その内容に関連した質問を英語で書くことに課題がある。